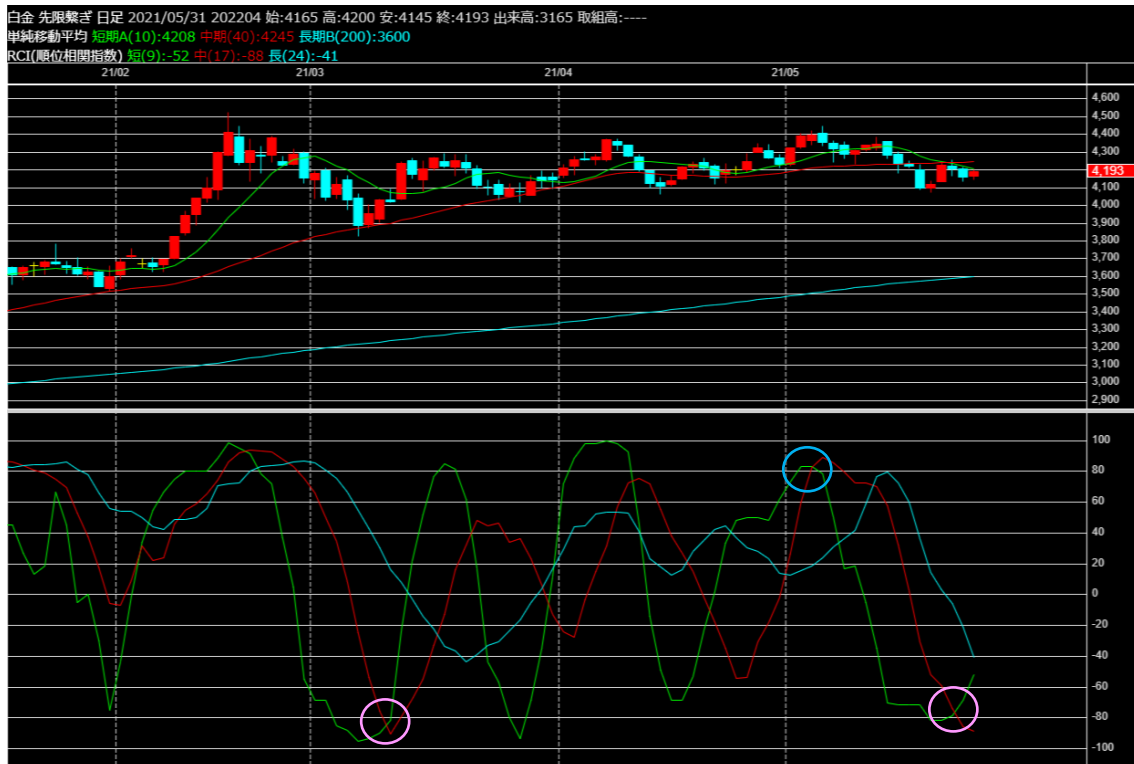


＜白金標準先物、今週は上海プラチナ・ウィーク開催＞



(出所：オアシス)

14日以降、中国政府の鉄鉱石や銅価格に対する価格抑制を受け下げだすと JM 社の供給過剰予想も重なり 4073 円まで下値を試している。しかし今週はオンライン形式で上海プラチナ・ウィークが開催され南アフリカの 3 大大手プラチナ鉱山、ノリリスク・ニッケル、JM 社、WPIC や中国銀行、中国材料リサイクル協会(CPMIC)の貴金属産業委員会などプラチナ業界関係者多数が参加し、1 日に水素とエネルギーの変換、PGM 指向クリーンエネルギー技術へのベンチャーキャピタル投資、プラチナ投資とプラチナジュエリー市場ダイナミクス、2 日には中国 PGM 需要のダイナミクスと戦略的準備金の必要性などの講演が予定されており、悪材料になる可能性は低く、中国における PGM 需要の重要性を再確認する場所になると思える。そのため下げ渋る展開が予想され、4100 円～4300 円のレンジ相場の値動きが注目される。

(2021 年 5 月 30 日記載)

＜テクニカル＞

順位相関指数 (RCI) で見た場合は、**短期**が-52%で上昇し、**中期**は-88%で下げており、**短期**が**中期**を上回る買いサインを示している。ただ**長期**が-41%で下げており、大勢感はまだ下向きのままであり、反転するまでは戻り売りの値動きに注意が必要である。しかし戻り高値 4257 円を終値ベースで上回る場合は、**中期**の反転が予想されるため、下げ止まるサインを示す確率が高くなると予想される。